

第四中学校・第八中学校 統合委員会ニュース

第
15
号

発行：第四中学校・第八中学校統合委員会

このニュースは、「第四中学校・第八中学校統合委員会」における協議の状況を、保護者や地域の皆様にお知らせするために発行しています。今号は、2月19日に開催した第15回統合委員会における協議の概要をお知らせします。

明和中学校が開校します

第15回をもって、統合委員会の協議は終了しました。これまで統合に関する様々な事項にご協力いただき、ありがとうございました。4月にはいよいよ明和中学校が開校します。これからも温かく見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

○校歌について

尾崎亜美氏に依頼していた明和中学校校歌が完成しました。歌詞は以下のとおりです。

中野区立明和中学校校歌
作詞・作曲 尾崎 亜美

緑に囲まれた学び舎で
たくさんの物語が生まれる
それぞれの夢を描くために
それぞれの絵の具を胸に抱いて
認め合うことを 微笑みの強さを
教えてくれるようなツルハナスの花
高い空は 輝きながら
私たちがずっと見守ってくれている
明和の風 吹き抜ける時
新しい勇気を両手に握りしめる
たとえ立ち止まることがあっても
私たちは一人きりではない
木立を揺らす風の向こうに
手を差し伸べてくれる君が見える
季節は巡るよと 涙は乾くよと
教えてくれるようにせせらぎは歌ってる
広い空は 輝きながら
私たちがずっと見守ってくれている
明和の風 吹き抜ける時
それぞれの未来へ羽ばたく鳥のように
飛び立とう 自由に



▲新校舎移転先の視察にて
尾崎亜美氏と統合委員



▲校歌制作に関する打合せにて
尾崎亜美氏と統合委員

明和中学校の校名の由来及び校章の見直しについて

教育委員会より以下のとおり説明がありました。

明和中学校の校名の由来、校章デザインとその説明については、「4本のラインは、鷺宮・白鷺・若宮・大和の4地域を表し」と説明しておりました。明和中学校の通学区域には、野方1丁目、2丁目、5丁目のそれぞれの一部が含まれていることを改めて確認し、説明文の中に「野方」を加えて「5地域」とするとともに、校章デザインにつきましても「5本ライン」に見直すことが適切との判断に至りました。お詫びして訂正させていただきます。



○校名の由来(校名選定理由) ※該当箇所のみ抜粋

「鷺宮」「白鷺」「若宮」「大和」「野方」の5地域が協力・連携するとともに、学校・保護者・地域が一体となって子どもたちを大切に育てることにより、明るく健やかに成長してほしいとの思いが込められています。

○校章とその説明 ※該当箇所のみ抜粋

花びらの右下にある5本のラインは、鷺宮・白鷺・若宮・大和・野方の5地域を表し、それぞれの地域が協力し合う様子を表現しています。



統合委員からのコメント



学校名・校章等を決める際には、新校のために真剣に意見交換があり、入学してくる生徒のことを考え、良い決議となった。また、素晴らしい校歌もでき、この委員会に参加できたことに感謝している。開校が待ち遠しい。

子どもたちと親戚一同もお世話になった第八中が最後ということで、少しでも何かの役に立てれば、という思いで委員を務めてきた。鷺宮小・西中野小の統合も控えているため、それをまた楽しみに、地域住民として見守っていききたい。

新しい学校はこうやってできるのかと体感させてもらった。校歌や校章は、第四中・第八中の思いも残しつつ、新しい校風が期待できるものが完成した。鷺宮小・西中野小の統合にも何らかの形で携わっていききたい。

統合委員会に参加したことにより、広く地域のことを考えるようになった。特別支援学級がある学校の統合ということもあり、伝えたいことはたくさんあったが、それらを伝えることができて良かった。

いろいろな意見交換があったが、子どものことを中心に考えて話し合いを進めることができた。2年半、いろいろな課題解決に向けて取り組めたのは、委員の皆様や事務局の協力があったからこそであり、大変ありがたく感じている。

私は第四中の卒業生なので、自分の学校がなくなってしまうことには寂しさも感じるが、新しい学校をつくる場に関わることができて良かった。皆様と一致団結して統合新校のことを決めていけたこと、大変嬉しく思っている。

このような素晴らしい委員会に携わることができ、心から感謝申し上げます。委員長をはじめ、関わる皆様の子供たちへの愛情を毎回とても感じ、心地よい時間を過ごさせてもらった。思い出こそ全て！皆様に感謝！

次世代を担う子どもたちのことを真剣に考え、議論し合う素晴らしい場に参加できたことに心より感謝申し上げます。明和中学校が生徒たちの学び・育成の場のみならず、地域の輪(和)をつなぐ場となることを期待している。

2年半、統合委員として活動できたことに感謝申し上げます。明和中の校歌の歌詞を見て、非常に良い歌詞ができたと思った。子どもたちが歌う姿を心待ちにしている。



校名や標準服の検討において、委員と子どもたちの意見が通じあえたのは、私たちが子どもたちを思うと同時に、子どもたちも地域の一員としての考え・思いを持ったということが大きかったと思う。

校名・校章の協議では、応募数が多かったこともあり、難しく感じたが、アンケートを通して、子どもたちの希望や将来への思いを聞くことができた他、委員の方々の意気込みや強い思いも改めて感じる事ができた。

統合委員会に参加するにあたっては、次世代育成委員・保護者・子どもの各立場に立って考えようと心がけていた。委員の皆様が子どもたちの気持ちに寄り添い、議論し、検討できた委員会であったことはとても良かった。

さまざまな立場の方の貴重なご意見を聞いて、勉強させていただくばかりであった。最近では、統合委員会や明和中について、保護者間の関心が非常に高まってきていると感じている。

委員長・副委員長のリーダーシップ・お人柄のおかげで、まさに校名のごとく、明るく和やかな委員会であった。二つの学校の校区の愛情と、四中愛・八中愛から掛け算となった明和愛に繋がっていきと感じている。

親としての希望がなるべく反映されるように、ということを考えて参加していた。特に標準服については、耐久性等の面でかなり希望が反映されたと思っている。非常に有意義でとても良い経験になった。

統合委員会を通して様々な地域の方と知り合い、話し合うことができた。校章や校名等を決めるにあたり、子どもたちの意見を聞きながら進めることができ、大変良かった。皆様のおかげでここまで来ることができた。感謝申し上げます。

校歌をはじめ、つくられたものが歴史に残っていくと思うと、非常に感慨深い。明和中が地域・子どもたち・先生等、関わる人々にずっと愛され、大事に残ってほしい。

地域の方々のたくさんの思いのうえに、校名や校章、校歌が決まり、これだけの思いが詰まった学校ができあがるんだなと思った。また、統合委員会を通して、皆様と素敵なお縁を築くことができたと思っている。

約2年半、本当に貴重な経験をさせてもらった。教育長をはじめ、事務局の方々のご尽力があって、滞りなく、統合に関する難しい課題を解決し、乗り越えることができたと思っている。感謝申し上げます。

本当にあっという間の2年半だった。穏やかに協議できたのは、委員長と副委員長をはじめ、委員の方々、校長・副校長のおかげである。統合委員会は今日で終わるが、新校舎が建つその日までを見守っていただけらと思っています。

新校舎が完成するまでが本当の統合だと思うので、今後も見守っていききたい。また、子どもと保護者と地域が繋がることで統合が成り立つと感じた。これをきっかけに、より強い絆が生まれたと思う。

長い教職経験の中でも、新校の立ち上げは初めてであった。学校は単なる建物ではなく、いろいろな方々の思いが凝縮された文化そのものだと感じた。そんな形でできた明和中は、これからの幸せに向かっていけると思う。

第四中学校・第八中学校統合委員会ニュース
編集・発行：第四中学校・第八中学校統合委員会 事務局：中野区教育委員会事務局学校再編・地域連携係
TEL：03-3228-5548 FAX：03-3228-5679

※ 統合委員会の会議要旨は、教育委員会ホームページまたは区役所5階教育委員会事務局学校再編・地域連携係でご覧になれます。

~~* 第四中学校と第八中学校は、令和3年(2021年)4月に明和中学校として開校します*~*~*